



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月7日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミツバ  
コード番号 7280 URL <http://www.mitsuba.co.jp>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 裕一  
問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 (氏名) 武 信幸 (TEL) 0277-52-0113  
四半期報告書提出予定日 平成30年2月7日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	247,039	4.2	11,107	△35.1	12,311	△15.5	△5,038	—
29年3月期第3四半期	237,154	△3.3	17,126	4.5	14,569	△5.3	4,383	△46.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 △1,907百万円(—%) 29年3月期第3四半期 △7,978百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	△112.58	—
29年3月期第3四半期	97.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	326,819	88,250	22.6
29年3月期	329,391	93,304	23.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 73,864百万円 29年3月期 78,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	15.00	15.00
30年3月期	—	—	—		
30年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	377,000	14.9	18,500	△18.5	19,500	△3.5	△6,000	—	△134.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	45,581,809株	29年3月期	45,581,809株
② 期末自己株式数	823,404株	29年3月期	823,307株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	44,758,419株	29年3月期3Q	44,758,758株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場の推移が比較的円安で安定し、雇用情勢や所得環境の改善などから、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国においては現政権の政策に不透明感があるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として回復が続いております。欧州においても金融緩和策や新興国景気の持ち直しなどが下支えとなり、緩やかな回復傾向にありました。また、中国やその他新興国では、景気は持ち直しの動きが見られ、総じて堅調に推移いたしました。

このような環境のなか、当社グループの連結売上高は2,470億39百万円（前年同期比4.2%増）となりました。自動車販売は、米国で8年振りに前年実績を下回りました。しかし、日本の新車効果と中国での日系車販売が好調を維持し、前期比で増収となりました。連結営業利益は、材料費の高止まりと不具合対応費用の増加で、111億7百万円（前年同期比35.1%減）、連結経常利益は、主に為替差損の減少がありましたが、連結営業利益の減少の影響で、123億11百万円（前年同期比15.5%減）となりました。また、集団民事訴訟の和解金とリコールの対応費用を特別損失に計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失は50億38百万円（前年同期は43億83百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント情報は次のとおりです。

輸送用機器関連事業は、インドネシアでの二輪車販売が低調で推移しましたが、中国と日本で四輪車販売が好調を維持したため、売上高は2,372億38百万円（前年同期比3.9%増）となり、セグメント利益は105億45百万円（前年同期比37.3%減）となりました。

情報サービス事業は、ソフトウェア開発、システム販売分野並びにデータセンター分野が堅調に推移し、売上高は91億22百万円（前年同期比7.1%増）となり、セグメント利益は3億30百万円（前年同期比836.2%増）となりました。

その他事業は、売上高は43億51百万円（前年同期比86.6%増）、セグメント利益は1億95百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態に関する分析

## (資産・負債・純資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の合計は、3,268億19百万円（前連結会計年度末3,293億91百万円）となり、25億72百万円減少しました。流動資産は1,894億91百万円となり65億92百万円減少し、固定資産は、1,373億27百万円となり40億19百万円増加しました。

流動資産は、現金及び預金が136億97百万円減少したことが主な要因です。固定資産は、有形固定資産が56億49百万円増加したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における負債の合計は、2,385億68百万円（前連結会計年度末2,360億87百万円）となり、24億81百万円増加しました。流動負債は、1,443億70百万円となり158億20百万円増加し、固定負債は941億97百万円となり133億39百万円減少しました。

流動負債は、短期借入金が145億10百万円増加したことが主な要因です。固定負債は、長期借入金が109億23百万円減少したことが主な要因です。

当第3四半期連結会計期間末における純資産の合計は、882億50百万円（前連結会計年度末933億4百万円）となり、50億53百万円減少しました。これは利益剰余金の減少が主な要因です。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ137億61百万円減少し605億1百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、58百万円（前年同期は169億72百万円）となりました。この主な要因は、和解金の支払額105億12百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、131億8百万円（前年同期は140億29百万円）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出124億3百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、19億79百万円（前年同期は17億47百万円）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出75億36百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）連結業績予想につきましては、平成29年11月8日に発表しました予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動はありませんが、第1四半期連結会計期間より、(株)三興エンジニアリング、コルポランオン・タツミ・デ・メヒコ・エス・エー・デ・シー・ブイ、ミツバ・オートパーツ・ド・ブラジル・インダストリア・リミターダを連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	75,789	62,091
受取手形及び売掛金	56,988	57,005
有価証券	100	99
商品及び製品	17,135	12,642
仕掛品	4,291	5,693
原材料及び貯蔵品	20,327	26,765
繰延税金資産	4,902	4,394
その他	16,615	20,879
貸倒引当金	△66	△79
流動資産合計	196,083	189,491
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,439	66,223
減価償却累計額	△40,390	△41,590
建物及び構築物(純額)	23,048	24,632
機械装置及び運搬具	131,103	138,978
減価償却累計額	△99,637	△104,713
機械装置及び運搬具(純額)	31,466	34,265
工具、器具及び備品	48,324	48,794
減価償却累計額	△43,853	△44,167
工具、器具及び備品(純額)	4,470	4,626
土地	6,268	6,967
リース資産	4,785	5,168
減価償却累計額	△1,969	△2,203
リース資産(純額)	2,815	2,964
建設仮勘定	9,910	10,173
有形固定資産合計	77,980	83,630
無形固定資産		
ソフトウェア	4,402	3,931
ソフトウェア仮勘定	174	87
その他	1,952	1,924
無形固定資産合計	6,529	5,944
投資その他の資産		
投資有価証券	31,432	30,217
長期貸付金	3,609	2,616
繰延税金資産	1,811	2,377
長期前払費用	401	1,290
退職給付に係る資産	9,342	9,862
その他	2,351	1,538
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	48,797	47,752
固定資産合計	133,307	137,327
資産合計	329,391	326,819

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,513	33,124
短期借入金	51,722	66,233
未払金及び未払費用	24,988	25,516
未払法人税等	1,713	1,269
賞与引当金	4,573	2,473
役員賞与引当金	65	56
製品保証引当金	4,057	3,717
損害補償損失等引当金	3,352	800
その他の引当金	434	548
その他	7,127	10,630
流動負債合計	128,550	144,370
固定負債		
長期借入金	95,931	85,008
長期末払金	3,377	782
繰延税金負債	4,078	4,330
退職給付に係る負債	1,233	1,063
その他	2,915	3,012
固定負債合計	107,536	94,197
負債合計	236,087	238,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,885	9,885
資本剰余金	15,592	15,593
利益剰余金	52,011	46,599
自己株式	△601	△602
株主資本合計	76,888	71,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,406	3,636
為替換算調整勘定	△2,169	△1,435
退職給付に係る調整累計額	△44	186
その他の包括利益累計額合計	1,193	2,388
非支配株主持分	15,222	14,385
純資産合計	93,304	88,250
負債純資産合計	329,391	326,819



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	237,154	247,039
売上原価	196,681	212,054
売上総利益	40,473	34,985
販売費及び一般管理費	23,346	23,878
営業利益	17,126	11,107
営業外収益		
受取利息	355	448
受取配当金	426	405
持分法による投資利益	526	595
為替差益	—	443
その他	676	929
営業外収益合計	1,985	2,822
営業外費用		
支払利息	984	1,024
為替差損	2,916	—
その他	641	593
営業外費用合計	4,542	1,618
経常利益	14,569	12,311
特別利益		
固定資産売却益	316	17
投資有価証券売却益	—	1,498
その他	14	6
特別利益合計	331	1,522
特別損失		
固定資産除却損	580	140
減損損失	5	59
製品保証引当金繰入額	—	2,238
取引調査関連損失	747	391
和解金	—	8,277
損害補償損失等引当金繰入額	2,367	—
その他	175	292
特別損失合計	3,876	11,400
税金等調整前四半期純利益	11,023	2,434
法人税等	4,786	5,285
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,236	△2,851
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,853	2,187
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,383	△5,038

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	6,236	△2,851
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,483	257
為替換算調整勘定	△15,560	304
退職給付に係る調整額	320	235
持分法適用会社に対する持分相当額	△459	146
その他の包括利益合計	△14,215	944
四半期包括利益	△7,978	△1,907
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,488	△3,844
非支配株主に係る四半期包括利益	509	1,936

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,023	2,434
減価償却費	9,642	11,906
受取利息及び受取配当金	△782	△853
支払利息	984	1,024
持分法による投資損益 (△は益)	△526	△595
有形固定資産売却損益 (△は益)	△305	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,350	1,075
たな卸資産の増減額 (△は増加)	689	△1,953
仕入債務の増減額 (△は減少)	7,877	△148
その他	1,143	5,898
小計	24,395	18,769
利息及び配当金の受取額	767	863
利息の支払額	△845	△871
独禁法違反に係る罰金の支払額	△2,399	△2,399
和解金の支払額	—	△10,512
法人税等の支払額	△4,944	△5,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,972	58
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,141	△12,403
有形固定資産の売却による収入	2,526	309
投資有価証券の取得による支出	△65	△5,163
貸付けによる支出	△2,630	△1,013
貸付金の回収による収入	1,625	542
その他	△1,345	4,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,029	△13,108
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,413	3,039
長期借入れによる収入	12,455	7,700
長期借入金の返済による支出	△11,474	△7,536
配当金の支払額	△805	△671
非支配株主への配当金の支払額	△606	△2,814
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,500	△198
その他	△1,230	△1,499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,747	△1,979
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,151	△263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,956	△15,292
現金及び現金同等物の期首残高	67,252	74,262
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,531
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,295	60,501

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	227,827	7,169	2,158	237,154	—	237,154
セグメント間の内部売上高又は振替高	481	1,349	174	2,005	△2,005	—
計	228,309	8,518	2,332	239,159	△2,005	237,154
セグメント利益	16,815	35	260	17,111	15	17,126

(注) 1. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機器 関連事業	情報サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	236,714	7,474	2,850	247,039	—	247,039
セグメント間の内部売上高又は振替高	523	1,647	1,501	3,672	△3,672	—
計	237,238	9,122	4,351	250,712	△3,672	247,039
セグメント利益	10,545	330	195	11,072	35	11,107

(注) 1. セグメント利益の調整額35百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。